

部 会 議 事 録 (まち協全体会資料)

部 会 名	片瀬・江の島まちづくり協議会 全体会
会 議 名	令和6年度 第1回片瀬・江の島まちづくり協議会
開 催 日 時	2024年4月11日(木) 午後5時00分から午後6時20分
開 催 場 所	片瀬市民センター ホール
出 席 者	委 員：14人(総数21人) 出席者：畠山会長、澁谷委員、岡田委員、山岡委員、山口委員 阪井委員、三觜委員、藤原委員、塚田委員、徳江委員 小原委員、甘粕委員、山本委員、金子委員 欠席者：岡野委員、上條委員、矢島委員、岩田委員 防災政策課：2人 鈴木主幹、佐々木上級主査 事務局：7人 森井センター長、高橋主幹、笠原、渋谷、下間、柴田、 吉岡
報 告	2 報告 片瀬海岸3丁目津波避難施設について 防災安全部防災政策課より、配布資料に基づき現在の進捗状況等について説明。 [質問等] (1) 平常時の利用はどのようにお考えか。複合施設のように避難施設以外の用途で利用することは考えていないのか。 [防災政策課] 複合施設となると工事に着手するまでに大幅に時間がかかってしまうため、市民の安全を確保するという観点から避難施設としての利用のみとしている。 (2) 液状化の懸念はないのか。 [防災政策課] 液状化が起こる地盤の深さは5mほどであり、今回の津波避難施設は杭を地中7mから9mほどに打つ予定であるため、設計構造上問題ない。 (3) 中間階の倉庫に備蓄する資機材は何をどの程度予定しているのか。 [防災政策課] 備蓄については、今後西浜町内会と相談しながら決めていく予定。備蓄品としては、簡易トイレや保温シート等を想定している。

(4) 730人ほど収容できると記載があるが、出入口は3か所のみで問題ないのか。

[防災政策課]

出入口の階段とスロープはそれぞれ2mほどの幅を確保している。発災直後に避難者が一斉に避難施設に集中するわけではないため、避難者になるべく混雑しないような設計となっている。

(5) 片瀬海岸3丁目に住んでいる方以外も避難をしてよいのか。また、高さが7mとなっているが、この高さで問題ないのか。

[防災政策課]

避難については地域住民のみではなく、誰もが避難できる施設となっている。

高さについては、今ある知見を集約した結果、3.4mの基準水位（津波による「せき上げ」も含めた高さ）に余裕高3.65mを加えた7.05mとした。一部住民から7mよりも高くしてほしいとの要望もありましたが、これ以上高さを上げてしまうと収容人数も減ってしまうため、藤沢市としては7.05mの高さとして進めており、市議会の承認もいただいている。

(6) このような公共施設は工期が伸びることが多く見受けられるが、施工期間は及び運用開始時期は計画通りにいくのか。

[防災政策課]

一早く周辺住民の安全を確保するため、早急に着手することを目指している。まずは、6月議会での承認が下り次第、早急に工事業者と契約を行い、そこから1年から1年半ほどの工期となるため、完成は令和7年度中を見込んでいる。

(7) 建設予定地は海風が強い場所だが、完成した後の維持管理はどうしていく予定か。

[防災政策課]

建設予定地は海風が強く塩害の影響を受けやすい地域であることは認識しているため、外壁の素材は塩害に強いものを使用している。維持管理については、公共施設になるため、修繕を適宜行っていく予定。

(8) 平時から入れる仕様になっているのか。

[防災政策課]

発災時には誰でも入れるように、扉を壊せる仕様になっている。

議 題	<p>3 議題</p> <p>(1) 役員の選出について</p> <p>立候補はなし。事務局案として、畠山委員を会長に、副会長は各部会の部会長が務めていた経過があるが、一部の部会が無くなったこともあるため、今回は部会からの選出は無しとし、澁谷委員を副会長に推薦することとした。</p>
	<p>(2) 令和6年度の活動について</p> <p>ア 令和6年度活動スケジュールについて</p> <p>配布資料のとおり事務局から説明。各地域団体は総会がこれからの開催であるため、記載しているスケジュールは確定しているものではないため、参考までにしていただきたい。</p> <p>イ 令和6年度検討課題、事業について</p> <p>配布資料のとおり事務局から説明。今後の方向性については、5月及び6月の全体会で決めていくこととしたい。</p> <p>昨年度まで活動していた部会で、ボランティアセンター運営委員会については、片瀬地区社会福祉協議会に移管することとした。人材・情報バンクセンター運営委員会については、委員会の在り方について見直しを行った。</p> <p>見直し結果については、委員より説明。</p> <p>[委員]</p> <p>事務局から説明のとおり、人材・情報バンクセンター運営委員会について見直しを行った。</p> <p>その結果、コロナ禍でコミュニケーションが制限されたことや、地区全体の高齢化、ボランティアのなり手不足等の状況から、人材・情報バンクセンター自体が時代のニーズに合わなくなってきたため、5月31日をもって窓口業務を終了し、閉所することとした。コーディネーター運営委員も6月末までの活動とする。今後、関係各所に調整を行っていく。</p> <p>[事務局]</p> <p>前述のとおり、昨年度まで存在した部会が2つ無くなったため、新たな部会を作ることを事務局としては考えており、案としては福祉や防災に関する部会や、公募委員を中心とした何でも言える部会を立ち上げてもいいのではないかと考えている。</p> <p>今回の全体会では提案のみとさせていただき、5月の全体会に改めて検討していくこととしたい。</p>

議 題

(3) 令和6年度の会議開催について

ア 全体会の開催時間等

今後の会議日程について、配布資料のとおり事務局から説明。昨年度までは毎月1回の役員会と全体会を開催していたが、会議自体をコンパクトにしたいとの意見も出ているため、日程案についてご審議いただきたい。

[意見等]

- (1) 時間は一定にしたほうが良い。個人的に夜は疲れるので、昼に開催していただきたい。
- (2) 新たな公募委員もいるので、5月及び6月の会議については対面で開催したい。
- (3) 公募の委員が参加できる時間帯にしたほうが良いのではないか。
- (4) 公募委員は日中働いているのか。

[事務局]

日中働いているが、日程は調整するといっていた委員の方もいる。ただ、全員が参加することは難しいため、日程を事前に周知してできる限り参加いただけるように調整したいと考えている。

そのため、5月及び6月の会議日時はこの場で決めてさせていただきます。

- (5) 昨年度の参加実績はどのような形か。

[事務局]

報告書2ページに記載がある。

- (6) 全員に都合を合わせるのは難しいので、会議の時間帯はいろいろな時間でやるべき。

[事務局]

これまでの意見を踏まえて、5月は公募委員との顔合わせを考えて、夜の時間帯での開催としたい。具体的な時間帯としては午後6時から1時間ほどの会議時間としたいと考えている。来庁できない委員もいる可能性があるため、Zoomでの対応もできるよう調整していく。

【決定事項】

5月の全体会は5月16日午後6時から午後7時30分までとする。

[事務局]

会議の開催間隔については、5月以降の会議で引き続き検討していくこととしたい。ただ、部会の設置等、方向性が決まるまでは毎月の開催としたい。

- (7) 次回までに委員全員に会議の開催時間や方向性等についてアンケートを実施し、その集約結果を基に話し合ったほうが議論が活発になるのではないか。

	<p>〔事務局〕 6月くらいまでに方向性を決めていかないと考えているため、部会の方向性や会議時間等についてのアンケートを事務局で早急に作成し、4月末を目途にご回答いただくこととしたい。 なお、アンケート送付方法については、できる限りメールでの対応とさせていただきたい。</p> <p>【決定事項】 異議なし。4月中にアンケートを送付し、集約した結果を基に5月以降の全体会で議論を行うこととする。</p>
その他	<p>4 その他 (1) 弁天橋花いっぱい愛好会活動周知チラシの配布について 次第の記載内容に沿って事務局より説明</p>
	<p>(2) 片瀬山地区の樹木伐採について 配布資料のとおり事務局より説明 〔意見等〕 (1) 行政のほうで伐採等をするなら、近隣にはポスティング等で周知すべきではないか。 〔事務局〕 ご指摘の通り該当部署に申し伝えます。</p>
次回会議 開催日時・場所	<p>5月の全体会では、協議会の方向性アンケートを確認しながら方向性について検討。</p>
	<p>全体会 日時 2024年5月16日(木) 午後6時00分から 場所 片瀬市民センター ホール</p>